

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「優しさと、笑顔いっぱい、楽しく暮らす、寿幸苑」と利用者、家族、職員等誰にでも理解できるような事業所独自の理念を掲げている。	○	地域密着型サービスに伴い、さらに地域性を盛り込んだ理念を望みたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員はしっかりと理解しており、日々の生活の中で、意識して実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会へ加入しており、行事等には管理者をはじめ、職員も進んで地域の人々との交流に努めている。また、地域の保育園との定期的な交流も行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日ごろの実践を振り返る良い機会と受け止めて、全職員がそれぞれに自己評価を行い、外部評価の結果と合わせて、改善に取り組んでいる。		

宮崎県新富町 グループホーム寿幸苑

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催されており、医療連携体制の構築に関して町の協力や、また、認知症の相談窓口として地域包括支援センターとの協力体制づくりと、町内会の回覧依頼等が話し合われている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の担当者とは連絡を密にする他、町社会福祉協議会主催の「福祉施設情報交換会」や福祉分野の会合に出席し交流を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	グループホームだよりを発行しており、その中で利用者の暮らしぶりを報告し、また、利用料の支払いで来訪の際に個々の情報の伝達を行っている。	○	さらに詳しい利用者の暮らしぶりや状態を家族に報告できるためにも、ホームだよりの発行回数を増やしていかれることを望みたい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情処理簿等にて、家族からの苦情、不満について管理者及び職員で検討し、改善へと努力している。	○	苦情担当者はホーム内には掲示してあるが、さらに重要事項説明書へ記載されることも必要と考えられる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職も少ないほうではないが、運営者が常に利用者とのコミュニケーションをとっており、利用者へのダメージはほとんど見られない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、職員の研修は積極的に参加しており、不参加の職員へは職員会や復命書での報告を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会での活動や、認知症の人と家族の会での勉強会を通じて、サービスの質を向上させるための取り組みを積極的に行っている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス開始前に見学に来ていただいたり、夜だけ自宅に戻ったりと徐々になじむまで利用者の希望に沿った対応をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	全職員が意識して利用者との良い関係を築くよう努力している。	○	業務の遂行に追われがちなところもあるが、そばに寄り添い、心の観察もできるようなゆとりの時間が持てる工夫もしていただきたい。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時には本人や家族から丁寧に話を聞いており、また入居後の変化にも注意をして、できるだけ希望に沿うよう検討してる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は月1回の職員会で出される意見やアイデアをもとに、本人や家族の意向、主治医の意見ともすり合わせて作成しているが、家族の参加がない場合がある。	○	家族の参加が困難な場合の対処方法に工夫が望まれます。また、地域包括支援センターなど事業所以外の意見も介護計画に反映させていただきたい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画の見直しは定期的に行っているが、状態の変化に応じた見直しもその時々に行っている。	○	現在6か月に1回の見直しとなっているが、状態の変化がなくても、3か月ごとの定期的な介護計画の見直しを期待したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者一人ひとりの主治医が異なり、一人が複数の受診を必要とする時もあり、必要に応じて家族に代わり職員が支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣に協力医療機関の病院があるが、緊急時以外は利用者それぞれが掛かりつけ医を受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	管理者が看護師の資格を持っていることもあり、ターミナルケアの認識が高い。利用者の意思を最大に尊重し、終末期に向けた方針の共有に努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法の理解に努め、内部規定を作り、それを全職員遵守している。プライバシーを損ねるような言葉かけや対応は見受けられない。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間を区切った過ごし方ではなく、心身の状況や好みを尊重した支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に関する一連の作業は職員が一方的に進めている傾向がある。さりげない介助や食後のお盆拭きを率先してされる利用者の支援等はあるが、楽しい雰囲気での食事風景がみられない。	○	職員と利用者とは別々のテーブルで食事をとられているが、食事の重要性を考えて同じテーブルで一緒に味わいながら、食事が楽しいものとなるような工夫が望まれる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の勤務体制や、ほとんどの利用者に介助が必要な点から曜日や時間帯を決めての支援を行っている。	○	体制上無理と決め付けてしまわずに利用者が満足し、楽しんで入浴できるような職員ローテーション等の工夫を検討していただきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者それぞれが園芸や食後のお盆拭き等できる事の支援がさりげなくなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節ごとにドライブや花見等に出かけているが、近隣への買い物等の支援が積極的にされていない。	○	車いす利用者が多いこともあるが、日常的な散歩、買い物に出かけられるよう本人に合わせた外出支援をされることを望みたい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害は全職員しっかり理解しているが、帰宅願望の強い入居間もない利用者がホームに慣れるまでの間、危険防止のため、日中も玄関には鍵をかけている。ただし敷地内への出は入り口は常に開放してある。		

宮崎県新富町 グループホーム寿幸苑

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域消防団や消防署との協力により、年に1回の防災訓練を実施しており、マニュアルも定めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせた量やバランスを工夫している。また、水分摂取には特に気をつけており、スイカ等水分の多い果物を取り入れる工夫もされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	既存の建物を利用したホームのため、廊下等の狭さも感じるが、全体的に清潔で、壁等の飾りつけもさりげなく、居心地良く過ごせる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドの部屋だけでなく、布団を敷かれる方には畳の部屋もある。また一人ひとりの好みや性格を把握した居心地の良い工夫がされている。		

※  は、重点項目。